



西日本豪雨で被災した筑紫郡那珂川町埋金地区で8月25日(土)豪雨で倒れ掛かった竹林の伐採と裏庭の草刈りを行った。

7月6日の豪雨以降、放置されていたものでこれからの台風シーズ

九州北部豪雨で亡くなられた方々へ謹んでご冥福をお祈り申し上げます。また、被災された方々からお願い申し上げます。早期の復旧・復興を祈念します。

前日までの予報では、曇りで昼前から雨となっており、午前中に作業を終えなければならない状況だったが、天候は晴れ、気温も上がり真夏日の中での作業となった。法面上の平らな場所は比較的スムーズに草刈りができたが、法面と倒れ掛かった竹林の伐採は枯れた竹が幾重にも積み重なった状態で足元が悪く、茨のとげにも悩まされ、相当な時間を要した。



## 被災者とともに汗を流す



それでも午前中になんとか作業を終えることができ、庭に覆いかぶさっていた竹を伐採し、無造作に生えていた雑草を除去、見た目もスッキリ、二次災害防止にもなった。そして何よりも被災された方が「元気が出た」と言われたことが重要である。



このお宅は表側に川が流れ、裏側は山が迫っている間に建っており、大雨の際は非常に危険な立地場所にある。9年前の豪雨の時も被災され、このような状況に建つ家屋は他にも多くあり、今後も継続して手を入れていく必要がある。

ンに向け、二次災害防止作業を伴う裏庭の清掃を行った。

## 隠れた被災地からの声

道路側の玄関前に土砂が流入し、側溝を埋め、土埃に悩まされていたが、7月中旬に土砂は撤去された。しかし、裏庭は勾配もあり高齢の女性には厳しい状況で相談を受けていた。西日本豪雨はその名のおり西日本の広い地域が被災している。激甚災害地域に指定されていないこの地区も紛れもなく被災地であり、復旧・復興への手助けを必要としている。住宅街から一步中に入っていくと日の目を見ない被災された方の小さな声が聞こえてくる。

